



「外国語活動校種間連携パートナー学校事業」は、南丹管内の高校生と小学生が外国語による交流を行う事業です。小学生にとっては、「英語を使って実際にコミュニケーションする楽しみを感じる場」として、高校生にとっては「これまで培ってきた英語力を教える側になって発揮する場」として、双方にとって価値のある交流の場となっています。

小学生は身近な先輩から直接学ぶことで自分の将来に対する希望や関心を持ち、また、高校生は小学生への指導を通して日々の学習に対する自信や誇りを持つなど、校種の違いを越えた連携を通して、「つながる学び」に取り組んでいます。

Greeting

令和6年12月17日(火)から18日(水)の2日間にかけて、京都府立園部高等学校グローバルアカデミックコースの2年生と、南丹市立八木東小学校及び八木西小学校の6年生が、園部高等学校にて交流しました。

高校生から英語で歓迎の言葉が送られ、小学生も英語で挨拶をしました。高校生は小学生を温かく出迎え、お互いに緊張しつつも和やかな雰囲気の中で交流がはじまりました。



Keyword Game

はじめに「キーワードゲーム」で交流しました。高校生が事前に準備した「アメリカの動物」の絵と英単語が書かれたカードを見ながら、まずは高校生がお手本に発音していきます。発音の仕方を覚えたところでいよいよゲームの開始です。事前に動物を設定し、ランダムに動物の名前が読み上げられるなか、設定した動物の名前が発音されるとすかさず動物の写真をタッチします。難しい発音の動物もたくさんいましたが、回数を重ねるごとに小学生の反応速度も上がっていき、元気な声で発音し、ゲームを楽しみました。



Simon Says Game

次に「サイモンセズゲーム」で交流しました。指示役の人が、英語で発音される命令文の前に"Simon says"(サイモンさんの命令です)と付けたときだけ命令に従います。付いていなければその命令に従ってはいけません。だんだんと命令のスピードが速くなるにつれて難しくなりましたが、英語の発音を瞬時に聞き取り、ゲームを楽しみました。



Self-Introductions with Follow-up Questions

小学生と高校生が事前に自己紹介資料を準備し、まずはグループに分かれて英語で自己紹介をしました。好きなものや得意なことなどを紹介したあと、もっと聞きたい内容について高校生から英語で質問を行い、小学生は身振り手振りをしながら一生懸命英語で表現しました。高校生は小学生が分かるようにゆっくり話しかけたり、わかりやすい表現に変えて質問したりするなど、小学生の様子を見ながら活動を進めていました。最後は各グループから選ばれた代表の児童が、高校生とペアになってみんなの前で自己紹介を披露しました。緊張しながらもペアの高校生の助けを借りて立派な自己紹介ができました。



Thank You and Farewell

小学生は高校生のフォローを受けつつ日々の学習の成果を発揮しながら、英語で伝える楽しさを感じられる交流となりました。高校生が英語で話す姿に、あこがれの気持ちを持ち、これからの学習につなげることができるのではないでしょうか。

高校生にとっても、難しい表現を小学生にもわかるように言い換えたり、さまざまなアドバイスをすることで自身の学習を深めることができ、有意義な時間となりました。

最後には八木西小学校の児童から感謝の気持ちを込めて英語の歌のプレゼントがあり、高校生も一緒になって歌い、活発な交流を行うことができました。

